

[報 告]

## 平成23年度全国共同利用情報基盤センター顕彰

平成23年度顕彰授賞式が行われました。

全国共同利用情報基盤センター及び国立情報学研究所の運用に非常に顕著な貢献があった方々に授与される平成23年度全国共同利用情報基盤センター顕彰功績賞候補者として、先に本センターから推薦していた情報部情報基盤課高橋洋一技術専門職員の授賞式が行われました。

授賞式は、昨年11月21日(月)午前10時から東京大学の当番により開催された、全国共同利用情報基盤センター研究開発連合発表講演会の冒頭で行われました。授賞式では、第17回全国共同利用情報基盤センター長会議議長である国立情報学研究所長名の表彰状と副賞(楯)が、当番校の東京大学情報基盤センターの石川裕センター長から、高橋洋一技術専門職員を含め、4名の受賞者の方々に手渡されました。

今年度顕彰を受けられた高橋技術専門職員は、永年に亘り東北大学サイバーサイエンスセンター(旧情報シナジーセンターと大型計算機センターを含む。)において、全国共同利用の大規模科学計算システムの運用への貢献が極めて大きいことが表彰の対象となったものです。

高橋技術専門職員は、昭和48年大型計算機センターに採用となり、データベース、ネットワーク等の整備やTSS(Time Sharing System)の普及において、中心的な活動でセンター初期の計算サービス基盤を築かれ、後年もその見識を持ってスーパーコンピュータ、並列コンピュータシステムの構築に大いに貢献されました。また、計算機システム構築以外にも、運用監視システムによる空調機管理体制を整備したことにより、システムの安定性が飛躍的に高まりました。この設計は現在も受け継がれ活用されています。

このように、38年の永きに亘り全国共同利用としての大規模科学計算システムの環境整備と運用管理に対して多大な貢献をされたことが今回の受賞に至った理由となっています。

### 『受賞者のコメント』

東北大学情報部情報基盤課 高橋 洋一

このたび名誉ある賞をいただきありがとうございます。これもひとえに理解のある上司、優れた同僚に恵まれたおかげと心より感謝しております。昭和48年センターに採用されて以来、大規模科学計算システムの運用管理と利用者支援の業務に携わってまいりました。この間利用者の皆様にも、運用上の様々な場面でご指導・ご支援を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

これからもより良いセンターを目指し、サービス向上に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

